

単元名

中国・四国地方

—交通・通信とともに変化する
人々の暮らし—

1 単元のねらい

- 中国・四国地方について、交通・通信網は重要な役割を果たしている。都市部と山間部、離島の地理的特色から、交通・通信網の発達の人々の暮らしに大きな変化をもたらしている。その変化や、発展したこと、新たな課題について理解する。
- 中国・四国地方について、都市部と山間部・離島における自然環境の特色から、持続可能な発展やよりよい地域づくりに向け、そこで見られる課題を主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現する。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
--	-------	----------	---------------

単元 の 評価 規 準	<p>・中国・四国地方について、都市部と山間部・離島の地理的特色において生じる持続可能な地域づくりに向けた、交通・通信網の発達を活用した取り組みや、人口偏在や過疎といった課題があることを理解している。</p>	<p>・中国・四国地方において、交通・通信網の変化が、人々の生活や産業、自然環境の特色、経済発展、過疎の対策等と関連付け、多面的・多角的に考察し、よりよい地域づくりに向けて主体的に判断し、ICT機器を活用する等、分かりやすく表現している。</p>	<p>・中国・四国地方の自然環境や交通・通信の特色について、単元の学習や前単元の九州地方、1年生からの既習事項をふまえ、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。</p>
-------------------------	--	---	--

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5・6	7
知識・技能	○	●	●	○		
思考・判断・表現		○	○	●	○	●
主体的に学習に取り組む態度	●				●	○

3 単元構造図（全7時間）☆獲得する認識

単元名 中国・四国地方 ー交通・通信とともに変化する人々の暮らしー	単元学習前の生徒の認識 平和記念都市・広島や鳥取砂丘、瀬戸内海など有名な場所があり、発展しているイメージがあるが、山間部など知らないところも多い。行く機会もほとんどない。実際はどのような地域なのだろう。
--	---

第1時 中国・四国地方をながめて 【○知識・技能 ●主体的に学習に取り組む態度】

中国・四国地方の自然環境には、どのような特色があるのだろうか。

☆中国山地・四国山地 ☆季節風 ☆山陰 ☆瀬戸内 ☆ため池 ☆本州四国連絡橋

中国・四国地方は、2つの山地と季節風の影響で、大きく3つの地域に分けられ、気候が異なる。地域を隔てる瀬戸内海や2つの山地があるが、本州四国連絡橋など交通網の整備によって、3つの地方の結び付きは強くなった。

第2時 交通網の整備と人や物の移動の変化 【○思考・判断・表現 ●知識・技能】

本州四国連絡橋によって、地域はどのように変化したのだろうか。

☆瀬戸大橋 ☆明石海峡大橋 ☆ストロー現象

本州四国連絡橋によって時間距離が短縮され、人や物の往来が増え、経済が発展した。一方、自動車交通の増加による環境問題や過疎の進行など、新たな課題が見られるようになった。

第3時 交通網が支える産業とその変化 【○思考・判断・表現 ●知識・技能】

瀬戸内工業地域が発展する要因は何があるだろうか。

☆瀬戸内工業地域 ☆石油化学コンビナート

瀬戸内工業地域は、海上輸送に適した地理的要因と、城下町や軍需産業で栄えたことによる経済基盤や用地確保ができた歴史的的要因に、高速道路など交通網の整備によって、さらに発展を続けている。

第4時 町おこし・村おこし 【○知識・技能 ●思考・判断・表現】

過疎地域による町おこし・村おこしはどのように行われているのだろうか。

☆過疎 ☆町おこし・村おこし ☆促成栽培 ☆養殖

中国・四国地方では、自然環境を生かした農業や漁業が行われる一方で、過疎が課題となっている。自然環境や通信網の整備を生かした上勝町の草花の販売など、多様な町おこし・村おこしが行われている。

第5・6時 橋で変わる島の暮らし 【○思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度】

瀬戸内海・直島に本州とつなぐ橋をかけるべきか。

よりよい地域づくりに向けて主体的に判断 I C T機器を活用する表現
 生徒の良さを生かした学習活動 議論（話し合い）活動の展開

本州と結ぶ橋をかける計画や要望がある直島は、交通の整備によって観光や工業の発展が期待できる一方、費用対効果や環境問題などの課題が挙げられる。よりよい地域づくりには、交通網の整備は重要であるものの、その弊害も考える必要がある。

第7時 まとめの学習 【○主体的に学習に取り組む態度 ●思考・判断・表現】

持続可能な地域像について考えよう。

交通・通信の変化は、人々の生活をどのように変化させ、地域の発展につなげたのか。

単元学習後の生徒の認識

瀬戸内海や離島など、岐阜県にはない自然環境において、不便な生活があるように課題があるが、交通・

4 単元指導計画

時	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
1 中国・四国地方をながめて	<p>中国・四国地方について、地形や気候、人口、産業などの視点に着目して調べる活動を通して、中国・四国地方の地域的特色を理解することができる。</p> <p>☆中国山地・四国山地 ☆季節風 ☆山陰 ☆瀬戸内 ☆ため池 ☆本州四国連絡橋</p>	<p>1 中国・四国地方について知っていることやイメージを交流し、学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和記念都市の広島が有名。 ・人口が少なく、有名な観光地がない。 ・岐阜県から遠く、なじみがない。 <p>中国・四国地方の自然環境には、どのような特色があるのだろうか。</p> <p>2 教科書や地図帳を使って、白地図に県名や自然地名を書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9つの県がある。 ・山地に挟まれたところに瀬戸内海がある。 <p>3 雨温図から特色を読み取り、分かったことを説明し、その後にノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海沿いの地域は、年間通して降水量が少ない。2つの山地に影響される。 ・山陰と呼ばれる日本海側は、冬の降水量が多いので、雪が多く降る。 <p>4 交通網の変遷について資料を提示し、気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路が増え続けている。 ・昔は本州と四国は道路でつながっていない。 <p><< 単元を貫く課題 >></p> <p>交通・通信の変化は、人々の生活をどのように変化させ、地域の発展につなげたのか。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>中国・四国地方は、2つの山地と季節風の影響で、大きく3つの地域に分けられ、気候が異なる。地域を隔てる瀬戸内海や2つの山地があるが、本州四国連絡橋など交通網の整備によって、3つの地方の結び付きができたのだろう。</p>	<p>2つの山地と季節風に影響される気候の特色を、資料から適切に取り取り理解する。 (知識・技能)</p>	<p>◇中国・四国地方の地図 ◇山陰・瀬戸内・太平洋側の地域の雨温図 ◇季節風と気候の図 ◇中国・四国地方の高速道路網の変化</p> <p>岐阜県とは異なる地形による気候の特色を資料から理解させる。単元を貫く課題に合わせ、発展し続ける高速道路網の変化が分かるように資料を準備する。</p>
2 交通網の整備と人や物の移動の変化	<p>本州と四国が橋によってつながることで、人口移動や産業の発展、物流に変化が表れ、地域の人々の生活が豊かになったり新たな課題が生じたりしたことを考えることができる。</p> <p>☆瀬戸大橋 ☆明石海峡大橋 ☆ストロー現象</p>	<p>1 前時の資料から、本州と四国が橋でつながったのはいつか、現在はいくつルートがあるか読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和63年に瀬戸大橋ができた。 ・現在は3つのルートがある。 <p>本州四国連絡橋によって、地域はどのように変化したのだろうか。</p> <p>2 船(航路)から車(道路)に変わるメリットとデメリットを、資料を参考にしながら考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されず、自由に行き来できる。 ・通勤や通学にかかる時間が短くなった。 ・自動車が増えて環境が悪化する。 ・船で発展した街は衰退する。 <p>3 意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く行き来できると、通過する街があるストロー現象は、今までにない視点だった。 ・発展するどころか、過疎につながるのでは驚 	<p>本州と四国との結び付きについて、橋ができたことによる変化、新たに生じた課題について、所要時間の変化や人口の変化の資料をもとに、多面的・多角的に考察し、表現している。 (思考・判断・表現)</p>	<p>◇中国・四国地方の地図 ◇中国・四国地方の高速道路網の変化 ◇本州四国連絡橋の開通前後の所要時間 ◇本州四国連絡橋の開通前後の人口(徳島市) ◇本州四国連絡橋の写真</p> <p>開通前後で表れた変化に着目して考えられる</p>

		いた。便利になればいいわけではない。 4 本時のまとめをする。		ように支援する。
		本州四国連絡橋によって時間距離が短縮され、人や物の往来が増え、経済が発展した。一方、自動車交通の増加による環境問題や過疎の進行など、新たな課題が見られるようになった。		
3 交通網が支える産業とその変化	瀬戸内工業地域における海上輸送がしやすい点と、発展する高速道路による陸による輸送の変化から、石油化学コンビナートが多く見られる瀬戸内地域の工業の発展について考えることができる。 ☆瀬戸内工業地域 ☆石油化学コンビナート	1 前時の資料から、工業が発展する点を予想して発表する。 ・橋の開通で輸送しやすくなった。 ・働きに来る人が遠くからでも通える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">瀬戸内工業地域が発展する要因は何があるのだろうか。</div> 2 石油化学コンビナートの概要を知り、交通の発展との関連性について、資料を参考にして考え、交流する。 ・石油を輸入に頼っている日本なので、海に面しているのは重要。 ・自動車工場もあるので、高速道路の発展は大事な要因といえる。 ・プラスチックを製造するのだから、大都市とつながっていることは大事。 3 意見を交流する ・瀬戸内海は流れがおだやかなので、船の輸送に適している。歴史で日宋貿易や日明貿易のルートになっていたことにつながる。 ・古くから瀬戸内海は輸送ルートになっていたから、街はそのように発展している。 4 本時のまとめをする。	石油化学コンビナートの特徴と、中国・四国地方の交通の特徴との関連について、地図や資料から適切に読み取り、表現している。 (思考・判断・表現)	◇中国・四国地方の地図 ◇中国・四国地方の高速道路網の変化 ◇海上輸送とトラックによる輸送の写真 ◇石油化学コンビナートの図と写真 ◇石油化学コンビナートでつくられる製品 石油化学コンビナートの理解が重要で、石油を輸入し、製品を輸出する加工貿易を確認する。
		瀬戸内工業地域は、海上輸送に適した地理的要因と、城下町や軍需産業で栄えたことによる経済基盤や用地確保ができた歴史的的要因に、高速道路など交通網の整備によって、さらに発展を続けている。		
4 町おこし・村おこし	中国・四国地方に多い過疎地域において、交通・通信網の発展を生かした町おこし・村おこしがあることを理解できる。 ☆過疎 ☆町おこし・村おこし ☆促成栽培 ☆養殖	1 前時の学習から、工業が発展する都市部とそれ以外の農村部の違いに着目する。 ・人口に大きな差が見られる。 ・資料から人口増減率は違いが顕著に表れる。 ・過疎地域が多く見られる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">過疎地域による町おこし・村おこしはどのように行われているのだろうか。</div> 2 上勝町の葉っぱビジネスについて、過疎地域だからこそできる点を考え、交流する。 ・高齢者の負担が少なく済む。 ・山地という地域の自然環境を生かしている。 ・高速道路が発展しているから、大都市への輸送もしやすい。 ・インターネットを活用すれば、都市へ行かなくても販売できる。 3 中国・四国地方にある他地域の町おこしについて、インターネットで調査する。 ・瀬戸内海の生口島では、レモン栽培が盛んで、本州四国連絡橋で都市へ出荷される。	中国・四国地方において、過疎の状況や町おこしの重要性、町おこしと地域の特徴との関連性について、インターネットを駆使して調べ、理解することができる。 (知識・技能)	◇中国・四国地方の地図 ◇中国・四国地方の高速道路網の変化 ◇中国・四国地方の市町村別人口増減率 ◇上勝町の人口 ◇上勝町の町おこし(葉っぱビジネスについて) ◇町おこし・村おこしの活動一覧 町おこし・村おこしが地域の特

		<ul style="list-style-type: none"> ・馬路村のゆずは、インターネットによる通販で売上を伸ばしている。 ・南国市のピーマンは、促成栽培と交通の発展による輸送で出荷が増えている。 ・江田島市の牡蠣は養殖が盛んで、橋の開通は販売の増加に関連している。 <p>4 本時のまとめをする。</p>		<p>色や交通・通信の発展を生かして取り組まれている視点で調べられるように支援する。</p>
	<p>中国・四国地方では、自然環境を生かした農業や漁業が行われる一方で、過疎が課題となっている。自然環境や通信網の整備を生かした上勝町の草花の販売など、多様な町おこし・村おこしが行われている。</p>	<p>中国・四国地方では、自然環境を生かした農業や漁業が行われる一方で、過疎が課題となっている。自然環境や通信網の整備を生かした上勝町の草花の販売など、多様な町おこし・村おこしが行われている。</p>		
<p>5・6 橋で変わる島の暮らし</p>	<p>瀬戸内海の離島における自然環境や交通の特色を理解し、よりよい地域づくりに向け、そこで見られる課題を主体的に考えることができる。</p>	<p>1 前時の学習から、瀬戸内海の島における過疎について、自分が島で生活することについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海に囲まれていて景色がいい。 ・静かな環境で生活しやすい。 ・都市へ行くには船を使うしかない。 ・工業は発展しにくいから働く場が少ない。 <p>瀬戸内海・直島に本州とつなぐ橋をかけるべきか。</p> <p>2 直島に関する資料を参考に、課題に対する自分の考えをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事や高校に行きやすくなるから、橋をかけるべきだ。 ・車の往来が増え、環境に悪いから、橋はかけなくてもいい。 <p>3 同じ立場の仲間とグループをつくり、議論におけるプレゼン発表の準備をする。</p> <p>4 グループごとにプレゼン発表する。</p> <p>5 発表を受けて議論を展開する。</p> <p>6 深めの発問について、再度考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは島で生活したことがないから、住民の思いを十分に分かっていなかった。生活が豊かになるには橋が必要だ。 ・生活のために橋が必要なのは分かるが、建設費における費用対効果はとれるのか。 <p>7 本時のまとめをする。</p>	<p>島の生活環境について、これまでの交通や産業、町おこしの学習をふまえて考え、それを表現するための資料を自分で見つけたり分かりやすく考えを伝えるための表現を工夫したりする。</p> <p>(思考・判断・表現)</p>	<p>◇中国・四国地方の地図</p> <p>◇中国・四国地方の高速道路網の変化</p> <p>◇直島の概要</p> <p>◇直島の人口推移</p> <p>◇直島の航路における時間や運賃</p> <p>◇橋をかける費用</p> <p>課題から逸れないように注意し、これまでの学習を生かした視点で考えられるように支援する。自分で資料を見つけられるように援助する。</p>
<p>7 まとめの学習</p>	<p>持続可能な社会の実現を視野に、中国・四国地方の学習内容を振り返って、単元を貫く課題を主体的に追究することができる。</p>	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>持続可能な地域像について考えよう。</p> <p>2 「SDGs 17の目標」とこれまでの学習と関連しているものを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「11 住み続けられるまちづくりを」と町おこしや直島の交通について考えることはつながっている。 ・「貧困」「健康」などは、過疎対策につながるのではないか。 ・環境問題と交通の発展は対極の立場にあるので、しっかり考えないといけない。 <p>3 「地域サミット」の参加者になって、持続可能な地域像を考え、交流する。</p>	<p>単元全体の学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して、主体的に単元を貫く課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p>	

		<ul style="list-style-type: none">・交通の発展で高齢者でもできる仕事があり、生きがいをもって生活できることは重要。・交通の発展によって過疎が進んだ。過疎にならなければ、より公平な生活ができたのではないか。 <ol style="list-style-type: none">4 仲間の意見に対する自分の考えをまとめる。5 単元を貫く課題のまとめをする。		
--	--	---	--	--